

## 第2章 長岡京市の都市構造上の課題

本計画に関わる上位計画・関連計画と、都市の現状及び将来見通しをまとめ、これらを踏まえて都市構造上の課題を整理します。

### 2-1 上位計画・関連計画の整理

#### 長岡京市第4次総合計画 (平成28年3月 長岡京市)

本計画は、社会情勢や市の特性等を踏まえながら、市民の参画と協働により、まちの明確な将来像を描き、持続可能で魅力あるまちをつくるために策定されたもので、長岡京市総合計画条例・同施行規則及び長岡京市議会基本条例の規定にもとづき、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。

#### 15年後の長岡京市の姿(将来像)

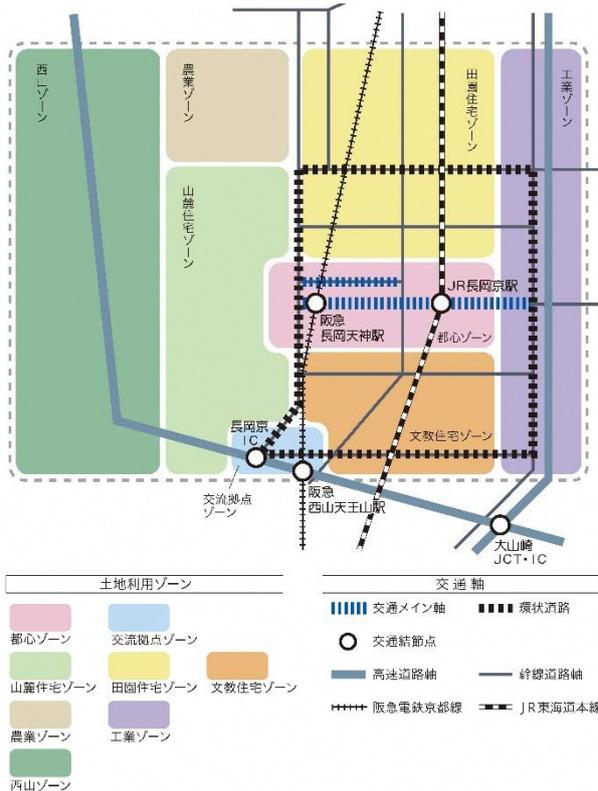
【キャッチフレーズ】 住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京

#### 【ひととまちの姿】

視点	15年後にめざす姿
うるおい・環境 ～緑と水と歴史を継いで～	この地に暮らしした先人の心が確かに引き継がれ、うるおいに満ちた暮らしがあり、他に秀でる良質の住み心地が醸されている。
にぎわい・交流 ～まちの魅力を最大に～	まちなかがにぎわい、巡りたい・歩きたいまち長岡京を舞台に、人・もの・文化の交流、産業の活力が導かれている。
あんしん・安全 ～支えあう市民生活～	いのち・尊厳・健康・財産が守られ、コミュニティの働きのもとで強まる自治の機能と市民間の支えあいが、暮らしの安心をつくっている。

#### 【人口フレーム】 8万人 (2030年(令和12年))

#### 【土地利用構想】



**にぎわい**

- ▶ 利便性を活かした空間を有効に活用し、バランスのとれた都市機能<sup>※1</sup>と住宅整備によるにぎわいのあるゾーンを目指す。
- ▶ 阪急長岡天神駅周辺整備を中心とした市街地整備を推進する。

**交流拠点ゾーン**

- ▶ 交通結節点という新たな機能を活用して、市民と来訪者の交流を促し、市内に交流の幅が広がるゾーンを目指す。
- ▶ 本ゾーンを起点に、人々の本市での活発な交流が展開されるような都市機能の誘導を目指す。

**山麓住宅ゾーン**

- ▶ みどりあふれる良好な住宅環境を維持し、市中心へのアクセスを確保したゆとりのある住宅地を目指す。
- ▶ ゆとりある住宅を活かした多世代世帯の入居など住み替えを促進し、良好な住宅環境を維持する。

**田園住宅ゾーン**

- ▶ 身近な農地と調和した住環境整備によるバランスのとれた住宅地を目指す。
- ▶ 農地と調和した住宅地として、ゆとりある住環境の確保や農地なども活かした景観形成により、住宅地としての環境の質的向上を目指す。
- ▶ 低層住宅地区では、敷地細分化を防止し、良好な住環境を維持・保全する。

**文教住宅ゾーン**

- ▶ 歴史的資源を活かした新たな魅力を生み出す住宅地を目指す。
- ▶ 主要な通りの景観形成や緑化推進などにより、住宅地としての質的向上を目指す。
- ▶ 中層住宅地では、用途及び建物の高さの無秩序な混在を防止、良好な住宅地の保全を目指す。

**農業ゾーン**

- ▶ 周辺の住宅や西山との調和のとれた農業振興と、貴重な田舎資源を保全した環境の活用を目指す。
- ▶ 農業や農産物に期しめる地域特性を活かして、福祉・教育分野の活動や交流が活性化するような環境づくりを目指す。

**工業ゾーン**

- ▶ 工業生産量の維持・集積と、多様な用途が調和した土地利用を目指す。
- ▶ 国道1号を中心とした沿道複合施設の立地誘導や良好な沿道景観整備を目指す。

**自然**

**西山ゾーン**

- ▶ 産官学民による保全活動の促進により、多様な生き物が生息し、四季折々の表情を見せる特徴ある景観を目指す。
- ▶ 近郊緑地保全区域や鳥獣地区などに指定した優れた自然環境を保全する。

※1. 市民生活を支援する商業・福祉・医療・教育サービスや公共交通、交流などの機能

6

第2章

長岡京市の都市構造上の課題

## 第二期長岡京市都市計画マスタープラン (平成 28 年 3 月 長岡京市)

本計画は、長期的視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現にむけての大きな道筋を明らかにするものです。

比較的コンパクトな市街地となっている本市においても、今後人口減少への転換が予想され、公共施設の再編・既存施設の活用などにより効率的に都市の活力を高める取り組みが求められている中、これらの課題や新たなニーズに対応した計画として策定しています。

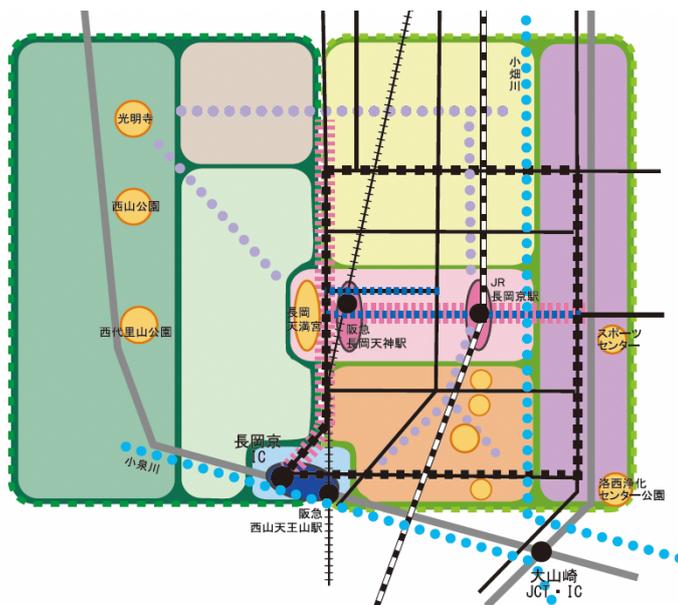
### 【都市づくりの理念】

～訪れたい、住みたい、住み続けたい～  
みどり・歴史・ひとの織りなす にぎわいとuringおいの 長岡京

### 【都市づくりの方針】

- <環境> みどりと歴史を活かした魅力づくり
- <交流> 地域特性に応じた交流とにぎわいづくり
- <安全> ひとや環境にやさしく安全で安心な空間づくり
- <ひと> 市民が文化やコミュニティを育む環境づくり

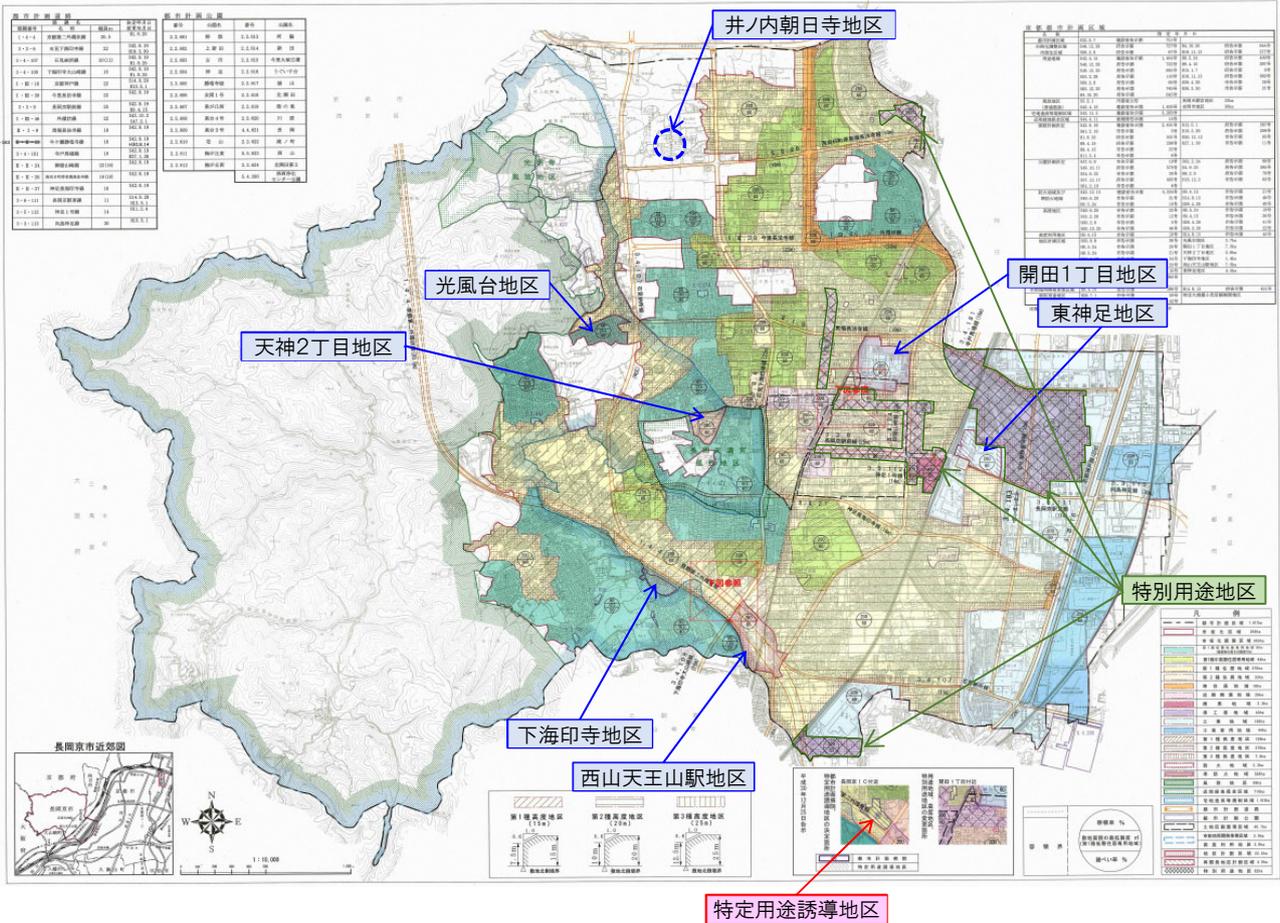
### 【将来都市構造】



土地利用ゾーン	4つのタイプ		8つのゾーン		
	にぎわい	住宅	産業	自然	都心ゾーン
住宅	山麓住宅ゾーン	農業ゾーン	西山ゾーン	田園住宅ゾーン	文教住宅ゾーン
産業	工業ゾーン				
自然					

拠点名称	機能	名称	機能	回廊名称	機能
都心拠点	本市の商業・業務機能などの中核を担う拠点	高速道路軸	京阪神、京都府内を南北に結び、広域高速移動を可能にする道路	シンボル軸	都心拠点などを結び歩きたくなる回廊
広域交通拠点	広域公共交通網である鉄道と高速道路を結ぶ拠点	幹線道路軸	都市間を結ぶ道路、市街地内の交通を円滑にする道路	うらおい水辺軸	主要な河川沿いの水辺空間を楽しむ回廊
歴史・文化レガーション拠点	主要な歴史・文化・レクリエーション資源拠点	交通メイン軸	公共交通サービスの充実やひとを優先する道路	歴史ふれあい軸	主要な歴史資源、社寺仏閣、田園の原風景をめぐる回廊
		環状道路	通過交通の流入抑制により市街地内交通を円滑にする環状の道路	みどり資源	山林や農地などの面的みどりを活かしながら「守り、残す」
		交通結節点	駅や高速道路 IC などの各移動における乗り換え・接続の拠点	市域西部	水辺や主要道路などの線的なみどりを活かしながら「創り、育てる」
				市域東部	

《参考》都市計画図 (    : 地区計画地区    : 特定用途誘導地区    : 特別用途地区 )



長岡京市地域公共交通ビジョン (平成 25 年 7 月 長岡京市)

本計画は、本市の公共交通について、『長岡京市第3次総合計画』や『長岡京市都市計画マスタープラン』を踏まえ、環境や福祉などの関連分野の計画との整合も図りながら、より具体的な方向性・内容を示し、今後を見据えたまちづくりを支える「地域公共交通の見通し・構想」として位置づけられるものです。

**【基本理念】**

- 「誰もが住みつけたくなる交通まちづくり」の実現
- 「環境負荷の少ない健康で安全な交通まちづくり」の実現
- 「持続可能な交通まちづくり」の実現



【基本方針】	【推進施策の柱】
便利で使いやすい交通システムの構築	①新たな交通事業の導入と創出 ②既存の路線バス・コミュニティバスの改善 ③サービス水準向上による公共交通利用の促進
賑わいを生み出す徒歩・自転車と公共交通中心のまちづくり	④まちの賑わいと回遊を生み出す市街地整備 ⑤徒歩・自転車と公共交通利用を促すソフト施策の推進
公共交通をみんなで支える体制の構築	⑥多様な主体で支える仕組みづくりと意識の醸成

## 長岡京市第2次地域健康福祉（中期）計画（令和3年3月 長岡京市）

本計画は、社会福祉法第107条に規定する市町村地域福祉計画として位置づけられるものです。また、『長岡京市高齢者福祉計画・介護保険事業計画』『長岡京市障がい者（児）福祉基本計画』『長岡京市障がい福祉計画』『長岡京市障がい児福祉計画』『長岡京市子ども・子育て支援事業計画』『長岡京市健康増進計画』といった、健康と福祉に関する個別計画を横断し、かつ地域福祉の視点で捉えることにより、これらの個別計画を包含するものです。

### 【基本理念】

だれもが安心して暮らせるまちづくり  
～ふれあい、わかりあい、支えあいのまち ながおかきょう～

【基本目標】	【施策】
地域を支える担い手づくり	①地域福祉の風土の形成 ②ボランティア活動等の推進
支えあい・助けあいの地域づくり	①「自助」、「互助・共助」のシステムづくりの推進
豊かに暮らせる環境づくり	①「公助」のしくみづくりの強化 ②相談機能、情報収集・提供機能の充実 ③福祉サービス・健康づくり等支援の充実 ④就労に対する支援の充実 ⑤ユニバーサルデザイン等による福祉のまちづくりの推進

## 長岡京市公共施設等総合管理計画（令和4年3月 長岡京市）

本計画は、国のインフラ老朽化対策である「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画である「公共施設等総合管理計画」として、本市が管理する公共施設等（インフラ施設を含む）全体の今後の管理方針、及び建物施設とインフラ施設のそれぞれの今後の取組の方向を示すことを目的に策定されたものです。

### 【公共施設等の総合管理方針】

機能を維持し、長寿命化を推進することで、総費用の削減を目指す

### 【基本方針】

建物系公共施設	インフラ施設
① 公共施設の適正管理の推進 ② 公共施設の長寿命化の推進 ③ 公共施設の複合化の推進 ④ サービスの向上策の推進 ⑤ 優先順位の設定 ⑥ 環境配慮の取組	① 対症療法から予防保全への転換 ② 市民と協働した維持管理体制の構築 ③ 社会状況への早期対応

## 長岡京市地域防災計画（平成25年7月 長岡京市）

本計画は市の総合的な災害対策計画であり、市内において地震や風水害などの災害が起きたときに、市、各防災関係機関及び市民などの役割を明らかにするとともに、それぞれが行う防災活動を総合的かつ計画的に実施することにより、市民の生命、身体と財産を災害から守ることを目的として策定されたものです。

### 【防災対策の基本方針】

- ・自然災害は、社会的に対応が可能な言わば人災であると認識し、長期的視点に立って「災害に強い都市・地域づくり」に努めるとともに、長岡京市業務継続計画により、早期の復旧・復興に努めます。
- ・災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることを認識し、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災対策の基本とし、防災施設・設備（ハード）と情報・教育・訓練（ソフト）の両面から総合的な整備を図り、被害を最小限にとどめるよう努めます。
- ・防災対策は、災害に対する日常の「構え」が重要であり、各種施策・事業の企画実施に際し防災の観点を取り入れるとともに、平常時から危機管理体制の整備に努めます。
- ・「自分の生命・財産は自分で守る」という心構えと行動が基本となることを啓発し、市民自身及び自主防災組織等市民相互間、地域での自主的な防災対策の支援に努めます。
- ・地域と一体となった対策の強化に努めるとともに、大規模災害に際しての予防、応急対策、復旧のそれぞれの段階において、災害時要配慮者の視点に立った対策を講じます。
- ・男女双方の視点に配慮した災害対策を進めるため、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立を図ります。
- ・東日本大震災を踏まえ、広域災害、複合災害に対応した対策の推進に努めます。
- ・市及び京都府、近隣市町村、防災関係機関が、その全機能をフルに発揮し、相互に協力して災害予防、応急対応に当たり、更には市民や事業所等の役割と責任を明らかにし、災害に対処します。

## 長岡京市まちづくり条例（平成6年9月 長岡京市）

### （目的）

第1条 この条例は、長岡京市生活環境の向上等に関する基本条例第6条の本旨を達成するため、住環境の整備について必要な事項を定めることにより、安全で良好な住環境の形成を図り、もってすべての市民にやさしい魅力ある都市環境を創出するまちづくりの実現に寄与することを目的とする。

### 【条例に盛り込まれている内容】

- ・市長の責務、事業者及び市民の責務
- ・住環境の向上
- ・まちづくり協議
- ・まちづくりへの市民参加
- ・助成、表彰制度

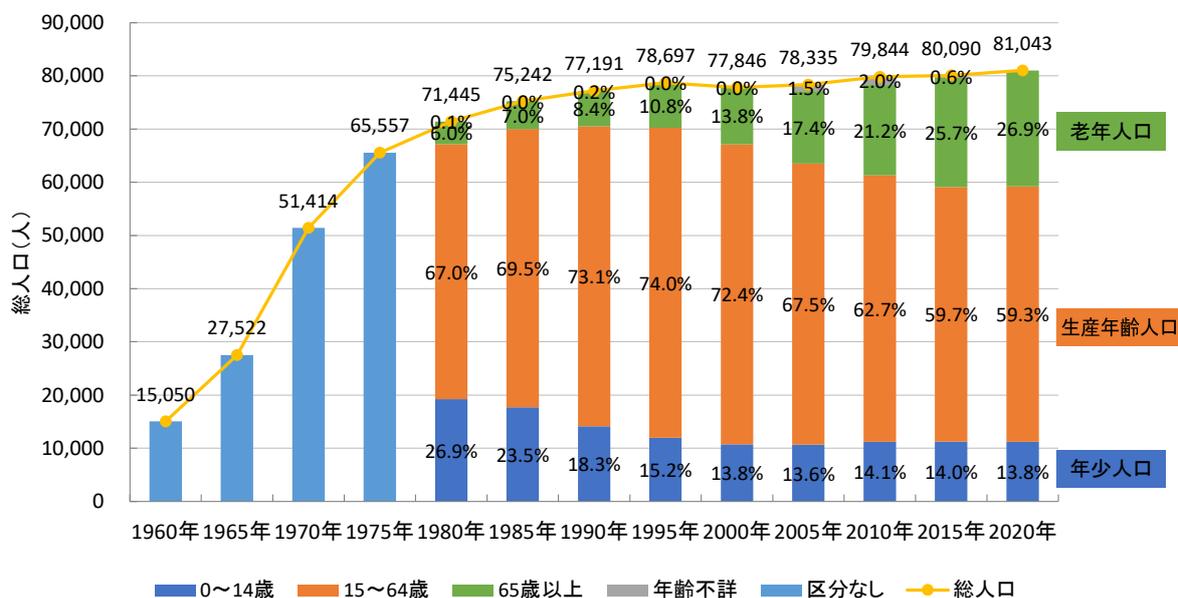
## 2-2 都市の現状及び将来見通し

### (1) 人口

#### ① 総人口及び年齢層別人口の推移

- ・本市では1960年（昭和35年）から1975年（昭和50年）にかけて飛躍的に人口が増加し、1980年（昭和55年）以降は緩やかな増加傾向となっています。
- ・高齢化率（65歳以上の人口割合）は年々増加し、2015年（平成27年）に25%を超え、2020年（令和2年）は26.9%となっています。生産年齢人口（15～64歳）比率は減少していますが、年少人口（0～14歳）比率は14%程度を維持しています。

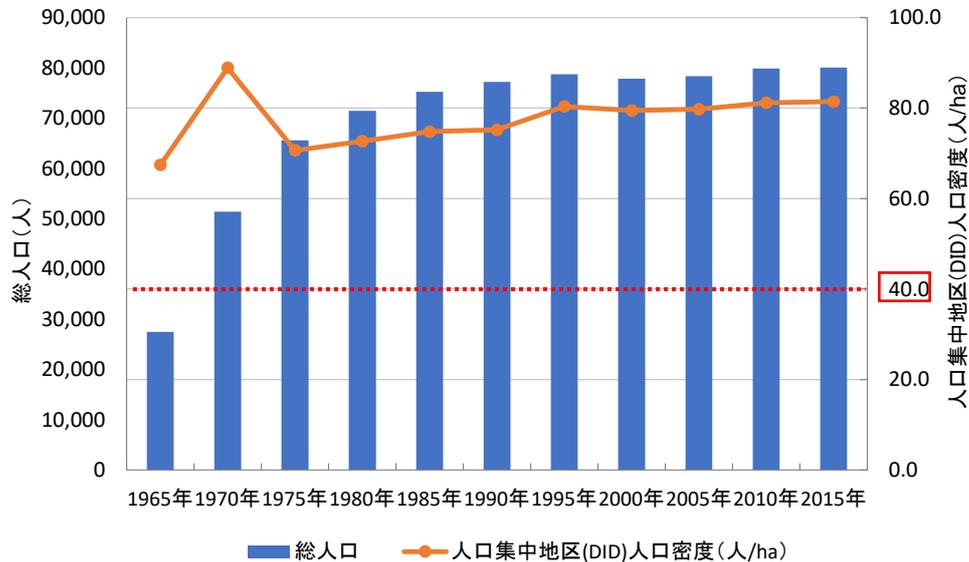
■総人口及び年齢層別人口の推移（出典：国勢調査（1960～2015年）、長岡京市住民基本台帳（2020年10月））



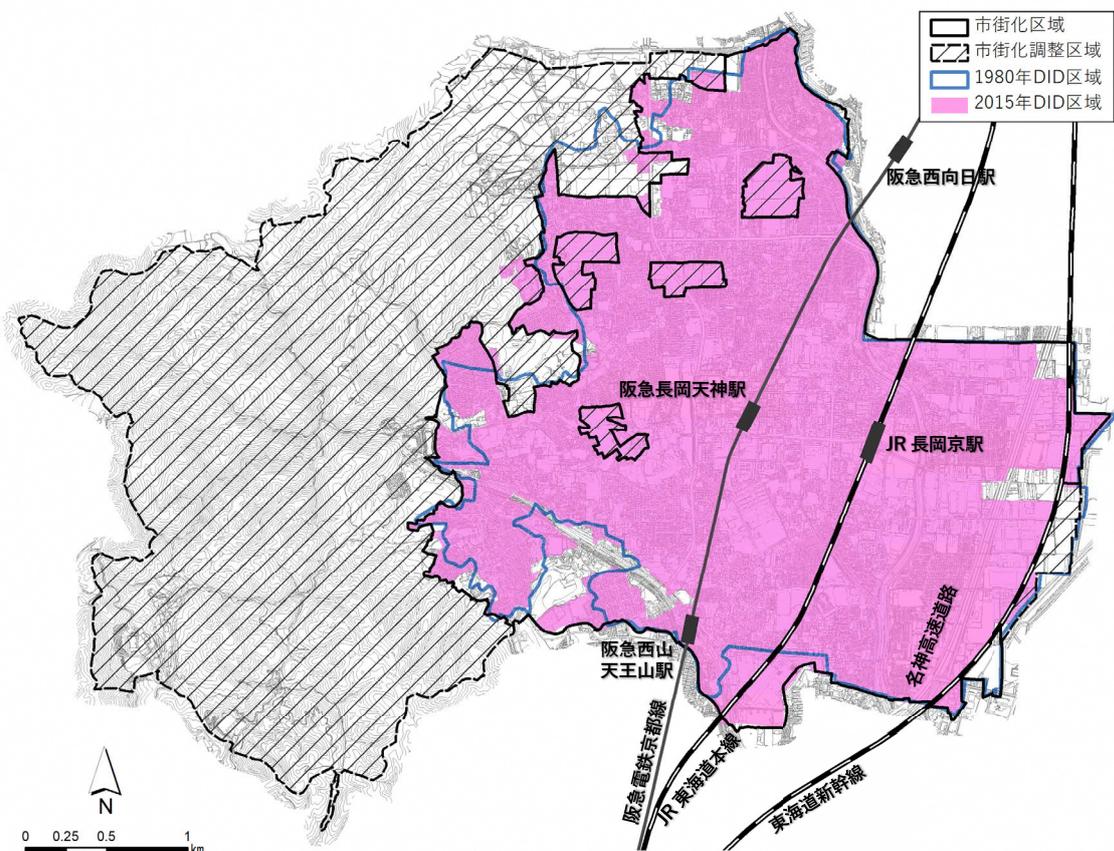
## ② 人口集中地区（DID）人口密度の推移

- ・市街化区域のほぼ全域が人口集中地区（DID）であり、その人口密度は、近年 80 人/ha 程度を維持しています。

### ■総人口及び人口集中地区（DID）人口密度の推移（出典：国勢調査）



### ■人口集中地区（DID）区域図（1980年、2015年）（出典：国勢調査）

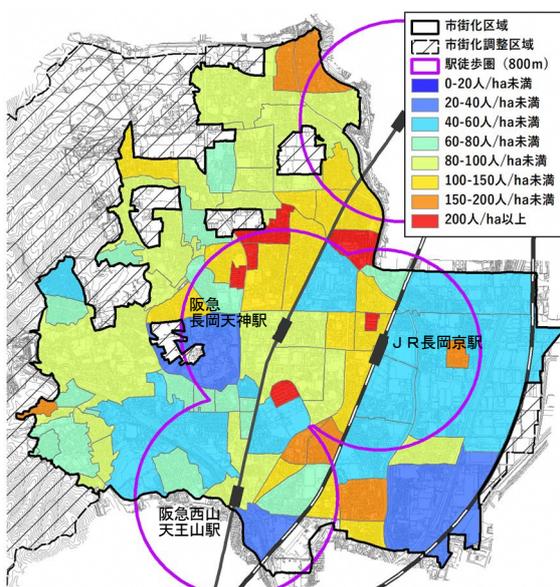


※人口集中地区（DID）：人口密度 40 人/ha 以上の基本単位区が互いに隣接して人口が 5,000 人以上となる地区

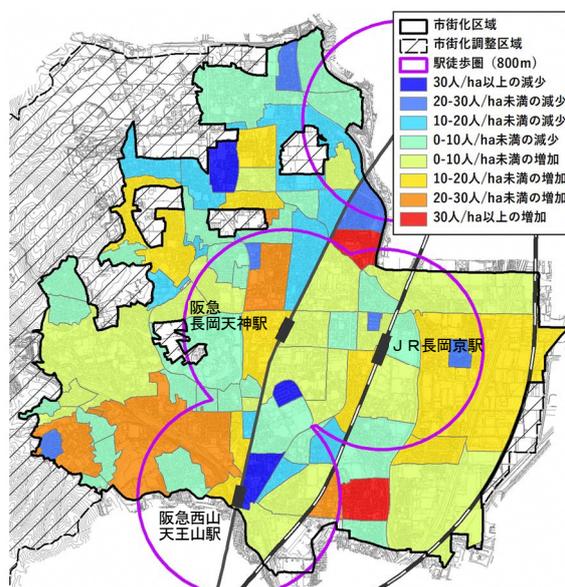
### ③ 町丁目別の人口密度及び高齢化率の動向

- 人口密度については、工業系用途地域が指定されている J R 東海道本線以東、長岡天満宮周辺の地域や農地等を多く含む地域等では比較的低いものの、概ね 60 人/ha 以上の地域が多く、駅徒歩圏（鉄道駅から半径 800m 圏）では 80 人/ha 以上の地域が多くみられます。2005 年（平成 17 年）から 2020 年（令和 2 年）にかけての増減をみると、市南部で 10 人/ha 以上増加した地域が多く、市北部では 10 人/ha 以上減少した地域が多くなっています。
- 高齢化率については 20～30% 未満の地域がほとんどですが、一部、40% 以上の高い地域（河陽が丘、柴の里、一文橋、梅が丘などの住宅地）もみられます。2005 年（平成 17 年）から 2020 年（令和 2 年）にかけての増減をみると、比較的郊外の住宅地（河陽が丘や光風台、西の京、高台西）で 20 ポイント以上の増加がみられます。

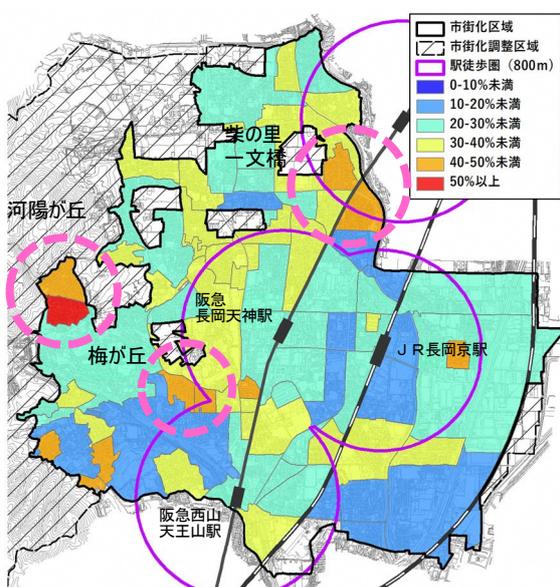
#### ■町丁目別の人口密度分布図（2020 年）



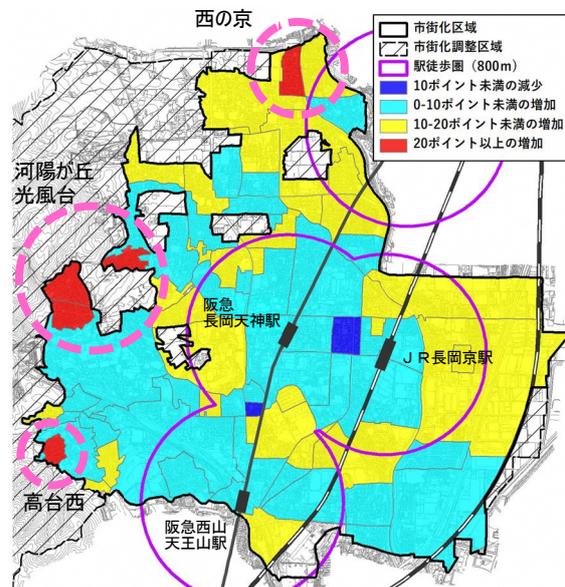
#### ■町丁目別の人口密度増減図（2005 年～2020 年）



#### ■町丁目別の高齢化率分布図（2020 年）



#### ■町丁目別の高齢化率増減図（2005 年～2020 年）



（出典：国勢調査（2005 年）、長岡京市住民基本台帳（2020 年））

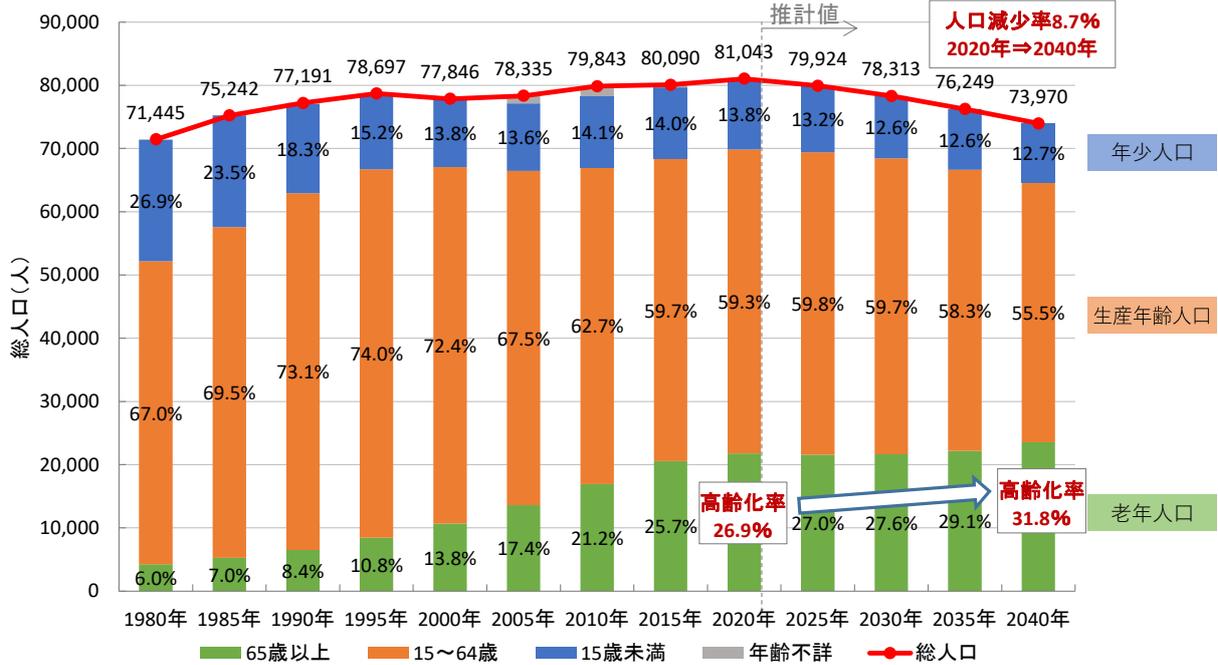
#### ④ 人口の将来見通し

##### a) 人口及び高齢化率の推移

- ・2020年（令和2年）をピークに人口が減少し、2030年（令和12年）には7.8万人、2040年（令和22年）には7.4万人になると推計されています。
- ・また、高齢化率は2030年（令和12年）に27.6%、2040年（令和22年）に31.8%になると推計されています。

##### ■総人口及び年齢層別人口の推移

（出典：国勢調査（1980～2015年）、長岡京市住民基本台帳(2020年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」をもとに算出（2025～2040年）

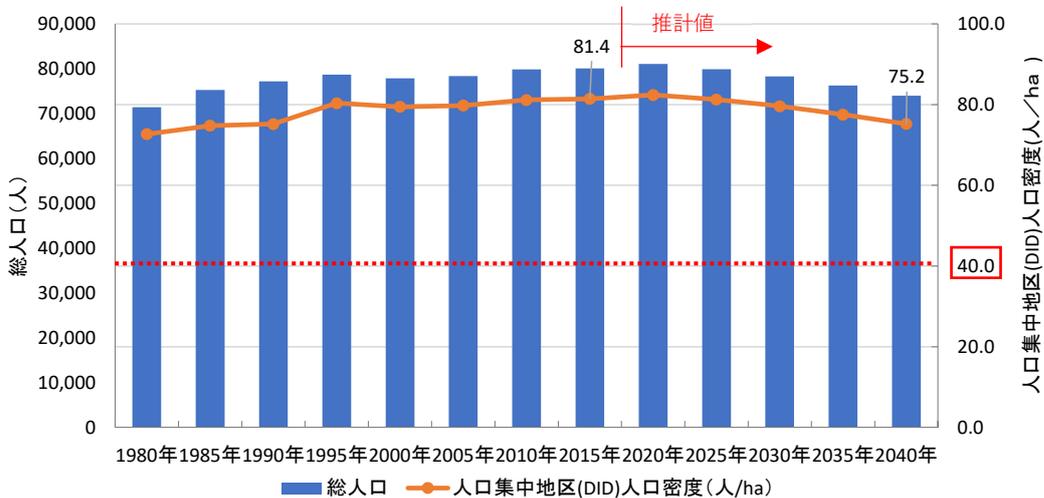


##### b) 人口集中地区（DID）人口密度の推移

- ・人口集中地区（DID）の人口密度は減少傾向となるものの、2040年（令和22年）でも75.2人/haと高い人口密度を維持すると予想されています。

##### ■総人口及び人口集中地区（DID）人口密度の推移

（出典：国勢調査（1980～2015年）、長岡京市住民基本台帳(2020年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」をもとに算出（2025～2040年）

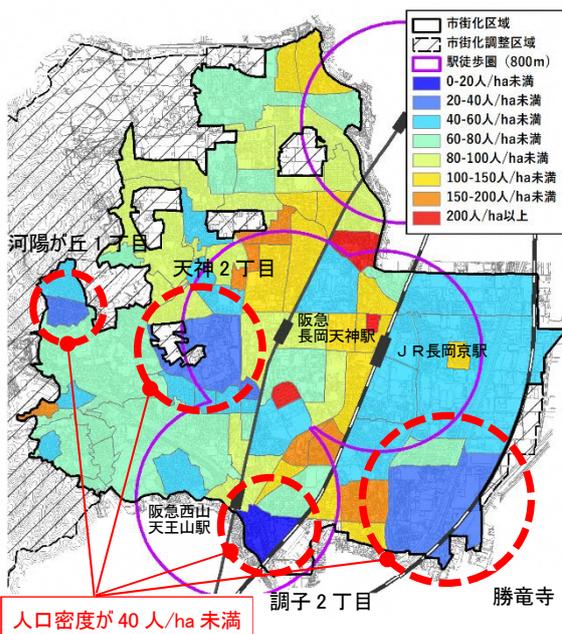


※人口集中地区（DID）の推計値  
面積：2015年のDID面積と同じと想定  
人口：2015年時点での総人口とDID人口の比に、各年推計人口を乗じて算定

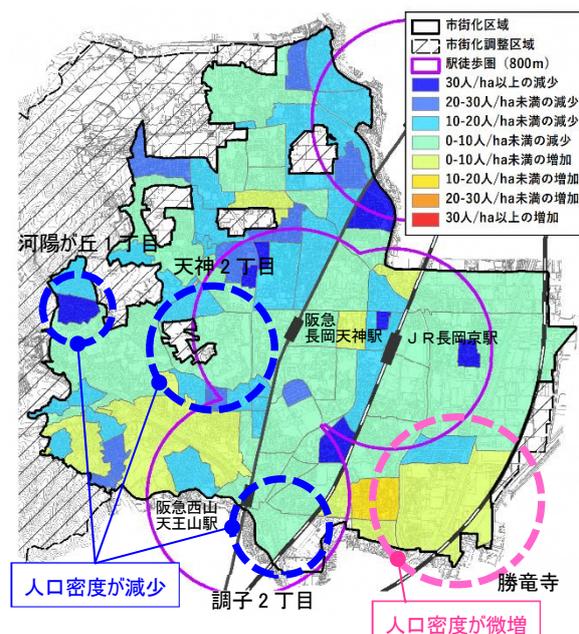
### c) 町丁目別の人口密度及び高齢化率の動向

- ・2040年（令和22年）時点の人口密度が40人/ha未満になると予想される地域は、勝竜寺（工業地域）、長岡天満宮を含む天神2丁目、河陽が丘1丁目などです。このうち勝竜寺では、2020年（令和2年）から2040年（令和22年）にかけて人口密度が微増すると予想されます。
- ・2040年（令和22年）時点の高齢化率は、古くから住宅地を形成している地域での高齢化率が高くなると予想されます。また、市南部の地域で高齢化が進行すると予想されます。

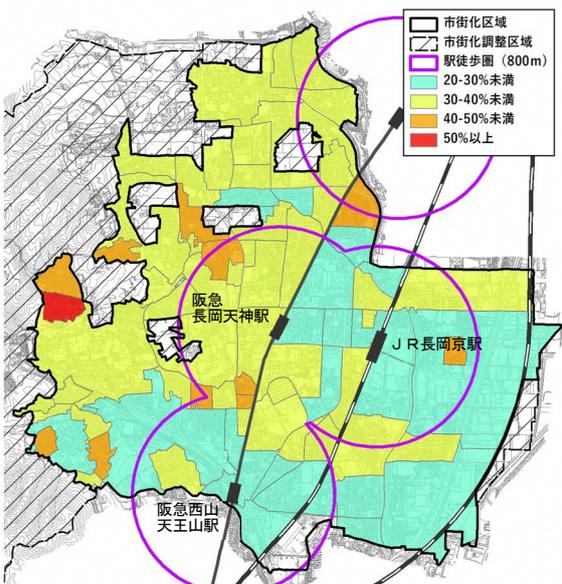
#### ■町丁目別の人口密度分布図（2040年）



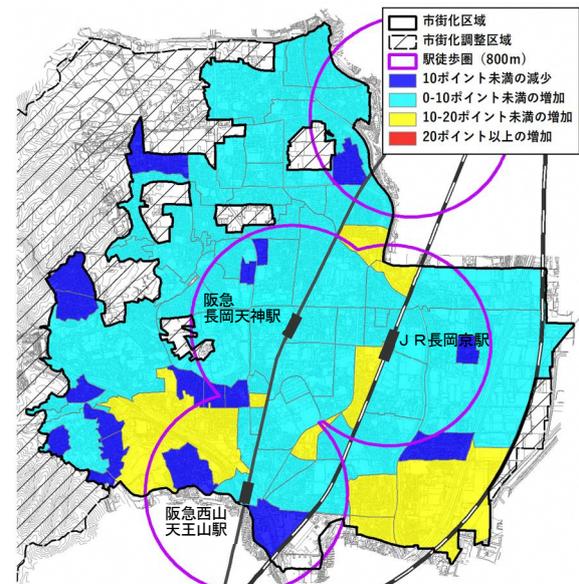
#### ■町丁目別の人口密度増減（2020年～2040年）



#### ■町丁目別の高齢化率分布図（2040年）



#### ■町丁目別の高齢化率増減（2020年～2040年）



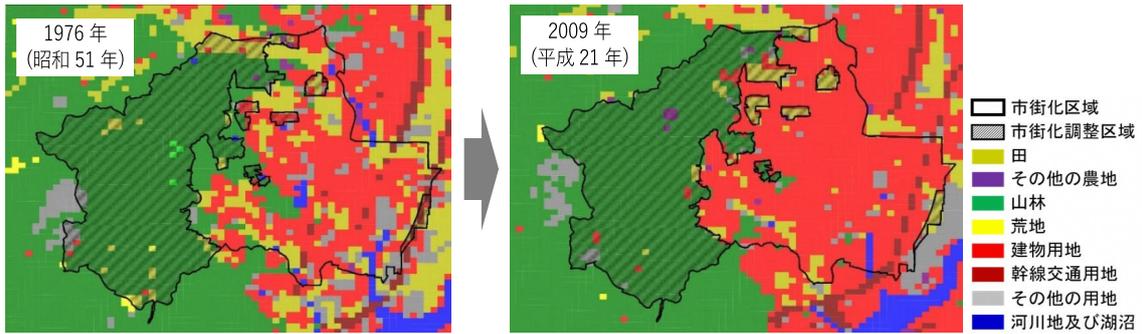
（出典：長岡京市住民基本台帳(2020年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」をもとに算出（2040年）

## (2) 土地利用・開発動向

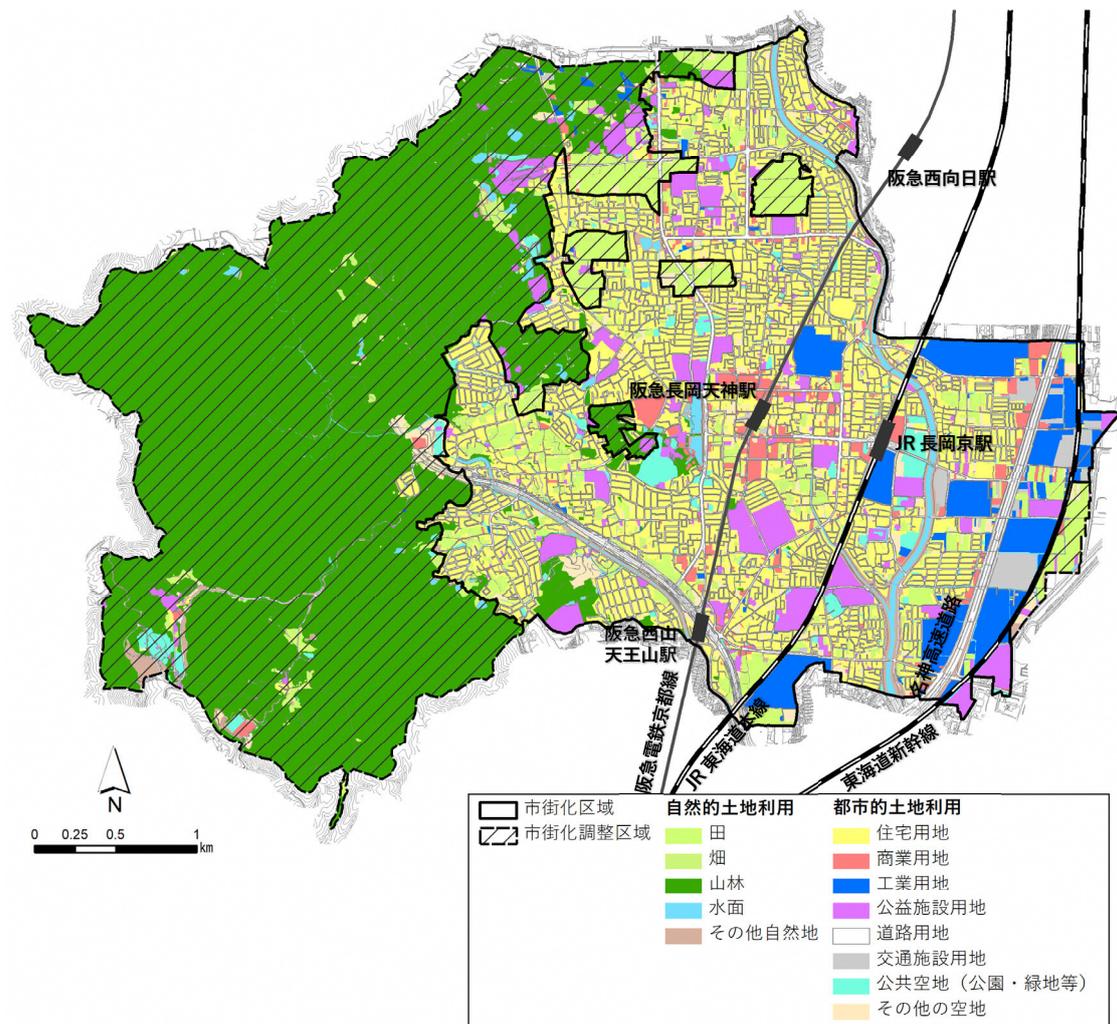
### ① 土地利用の動向

- ・1976年（昭和51年）から2009年（平成21年）の約30年間に市街地（都市的土地利用）が市街化区域のほぼ全域にまで拡大しています。
- ・2019年（令和元年）時点において、市街化区域内の都市的土地利用の割合は約87%を占めています。

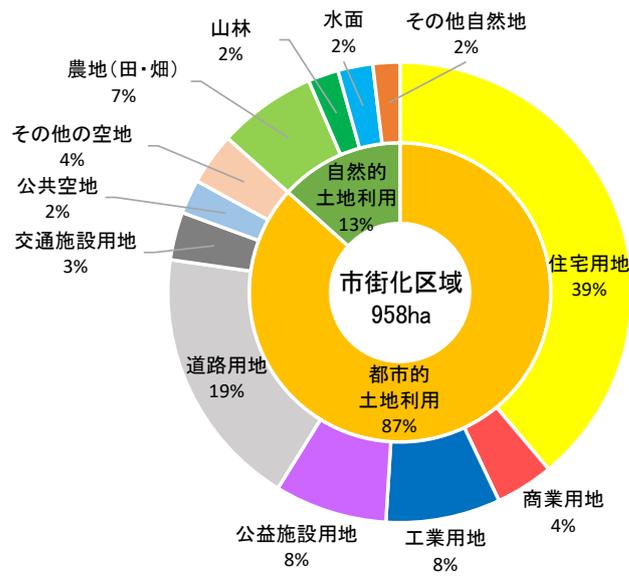
#### ■土地利用の推移（出典：国土数値情報）



#### ■土地利用現況（出典：令和元年度長岡京市都市計画基礎調査）



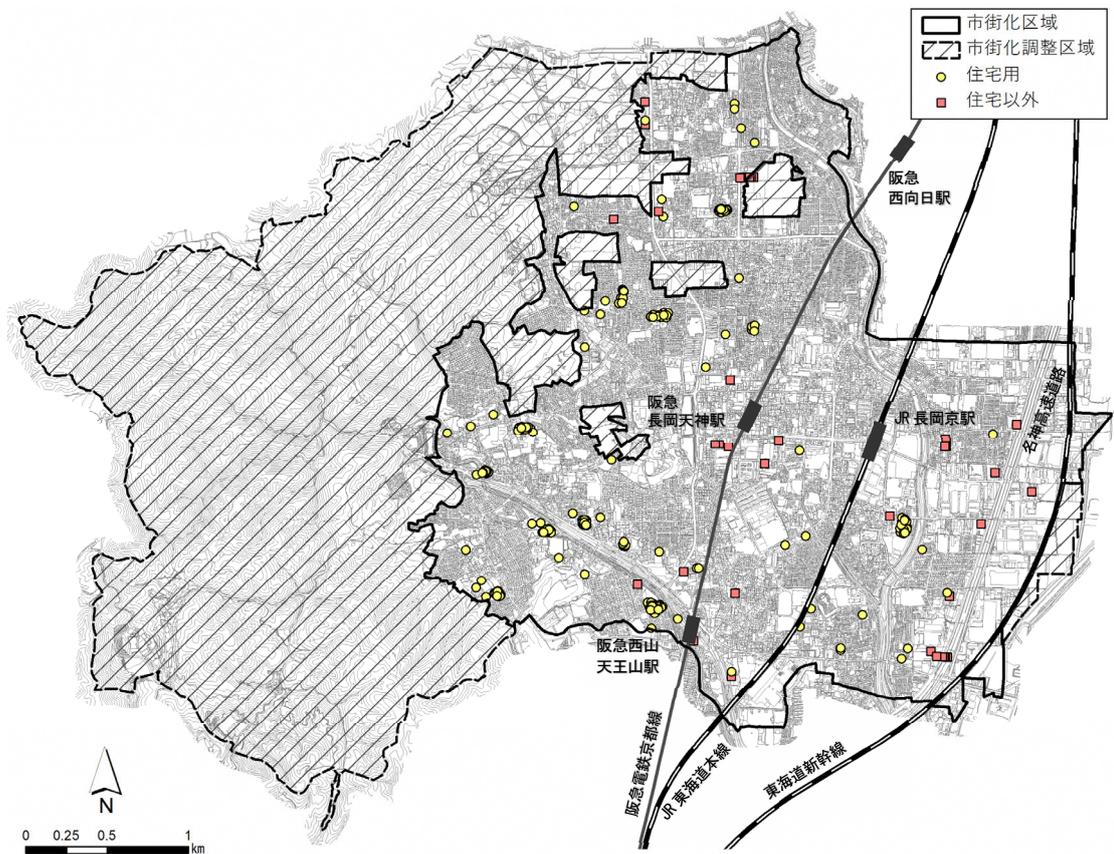
■市街化区域の土地利用面積 (出典：令和元年度長岡京市都市計画基礎調査)



② 開発の動向

- ・近年は駅徒歩圏外で開発行為が多くみられ、農地が減少しています。また、阪急西山天王山駅周辺をはじめとして住宅地開発が盛んに行われています。

■開発許可地点 (2012～2018年) (出典：令和元年度長岡京市都市計画基礎調査)

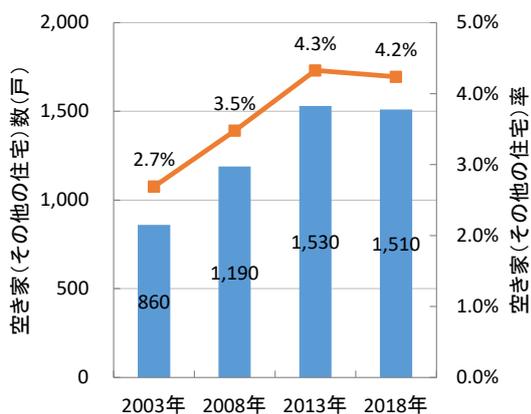


### ③ 空き家の動向

- ・一戸建住宅の新規着工戸数は毎年 300 戸前後あります。
- ・住宅・土地統計調査による空き家（その他の住宅）数は、2003 年（平成 15 年）以降、増加傾向にありましたが、2018 年（平成 30 年）には 1,510 戸と 2013 年（平成 25 年）から 20 戸減少しています。
- ・将来は、高齢化率が高く人口密度が低下する地域を中心に、さらに空き家が増加すると予想されます。

#### ■空き家数と空き家率（その他の住宅）の推移

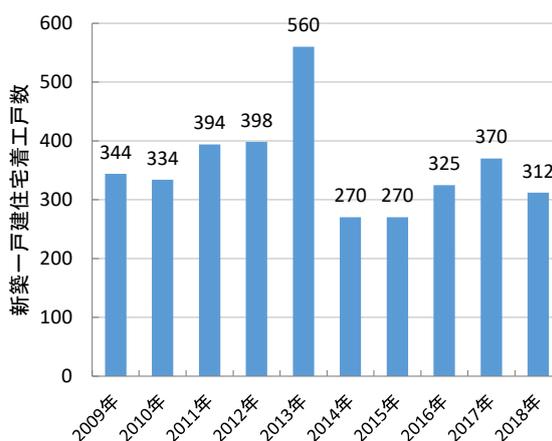
（出典：住宅・土地統計調査）



※「その他の住宅」とは、「賃貸用の住宅」「売却用の住宅」「二次的住宅」以外の住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など（空き家の区分の判断が困難な住宅などを含む。）

#### ■持家・分譲住宅の新規着工戸数の推移

（出典：京都府統計書）



※市町村別、利用関係別着工新設住宅のうち「持家」と「分譲住宅」の合計を対象。

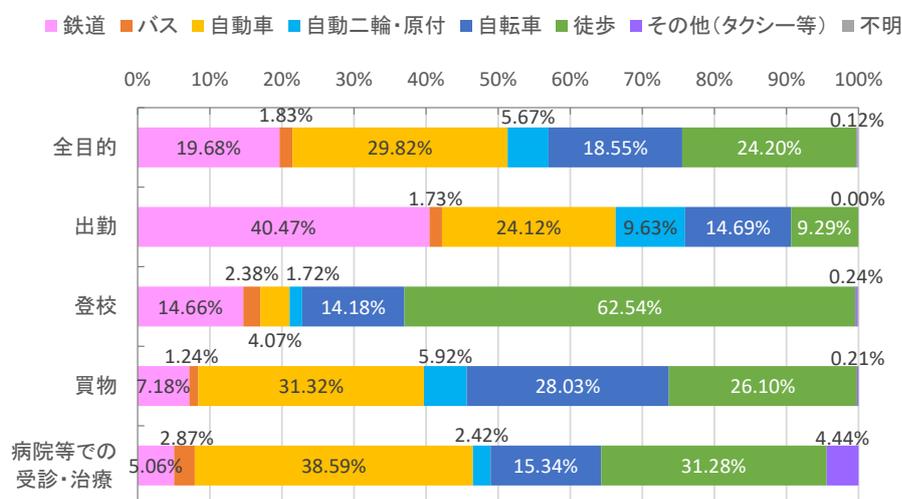
### (3) 都市交通

#### ① 公共交通の状況

##### a) 交通の利用状況

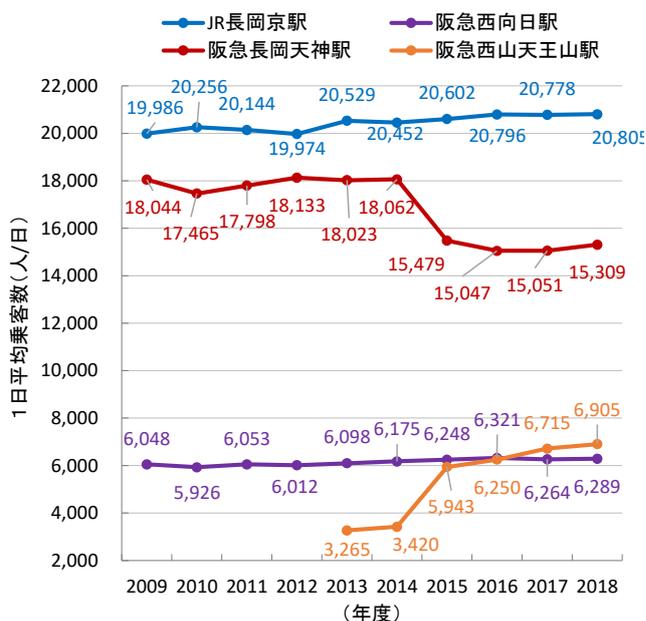
- ・市民の日常生活の主な移動手段として、「出勤」目的では「鉄道」利用が最も多く、「買物」と「病院等での受診・治療」目的は「自動車」、「徒歩」、「自転車」利用が多くなっています。
- ・鉄道各駅の乗客数は概ね横ばいです。
- ・2013年（平成25年）に阪急西山天王山駅の開業以降、鉄道利用者数（鉄道各駅乗客数の合計）はそれ以前より増えています。
- ・路線バスの輸送人員は減少しています。

■主な目的別の代表交通機関（交通手段分担率）（出典：平成22年近畿圏パーソントリップ調査）



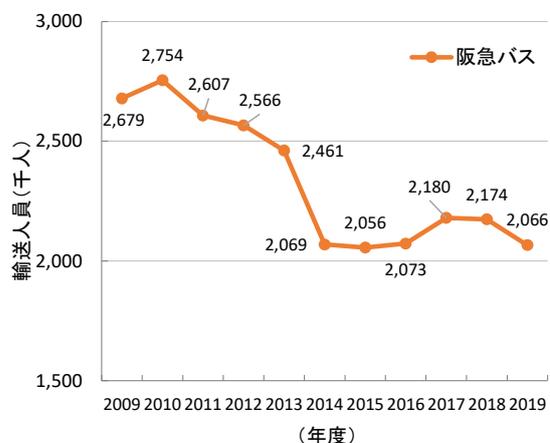
■鉄道駅の乗客数の推移

（出典：長岡京市統計書（令和元年度版））



■阪急バス（長岡京線）の輸送人員の推移

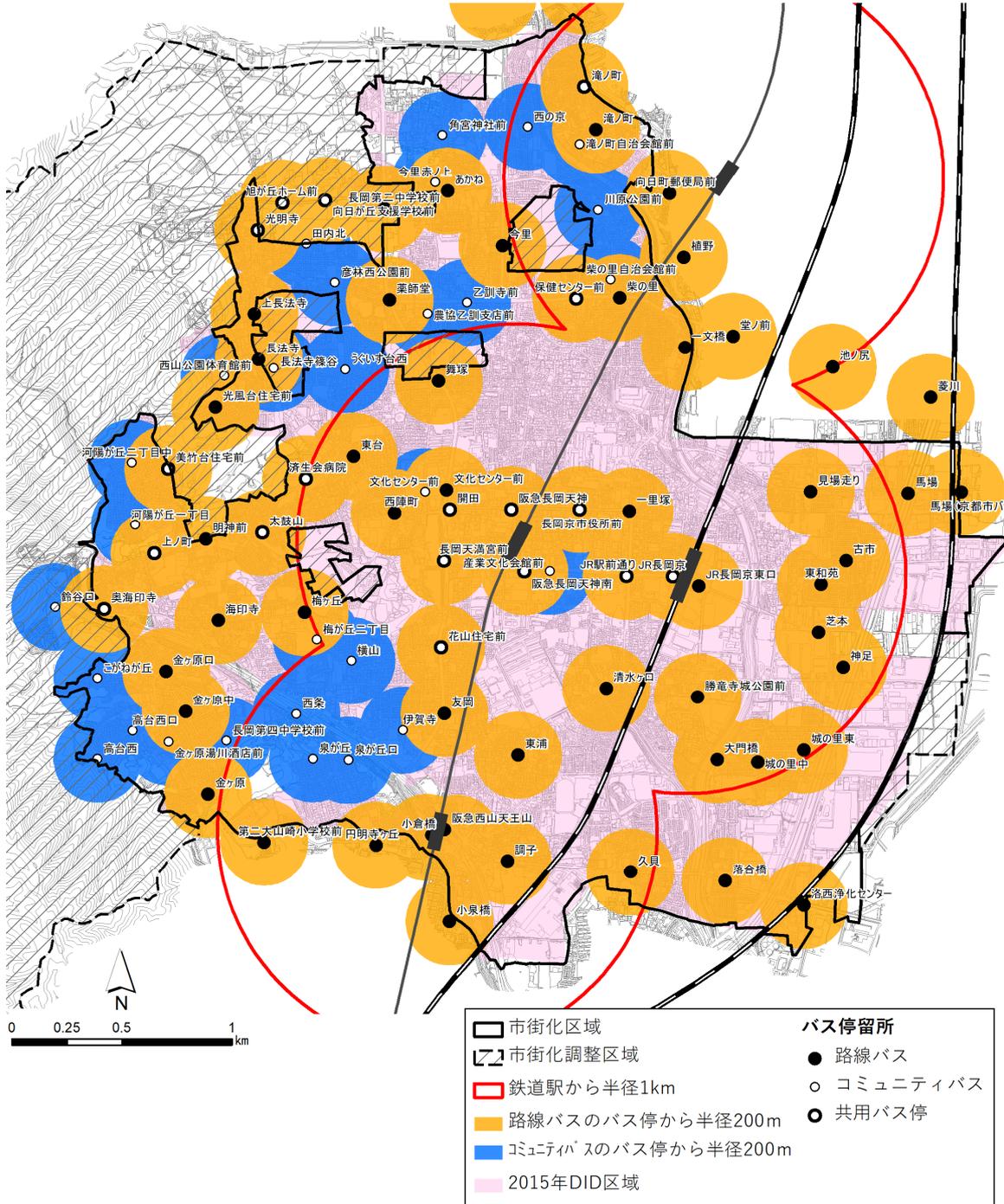
（出典：阪急バス資料）



## b) 公共交通の利用環境

- ・本市では、路線バスが入りにくい細街路で構成されている地区などをコミュニティバスが補完しているため、市街化区域のほぼ全域を鉄道駅勢圏及びバス停勢圏で網羅しています。

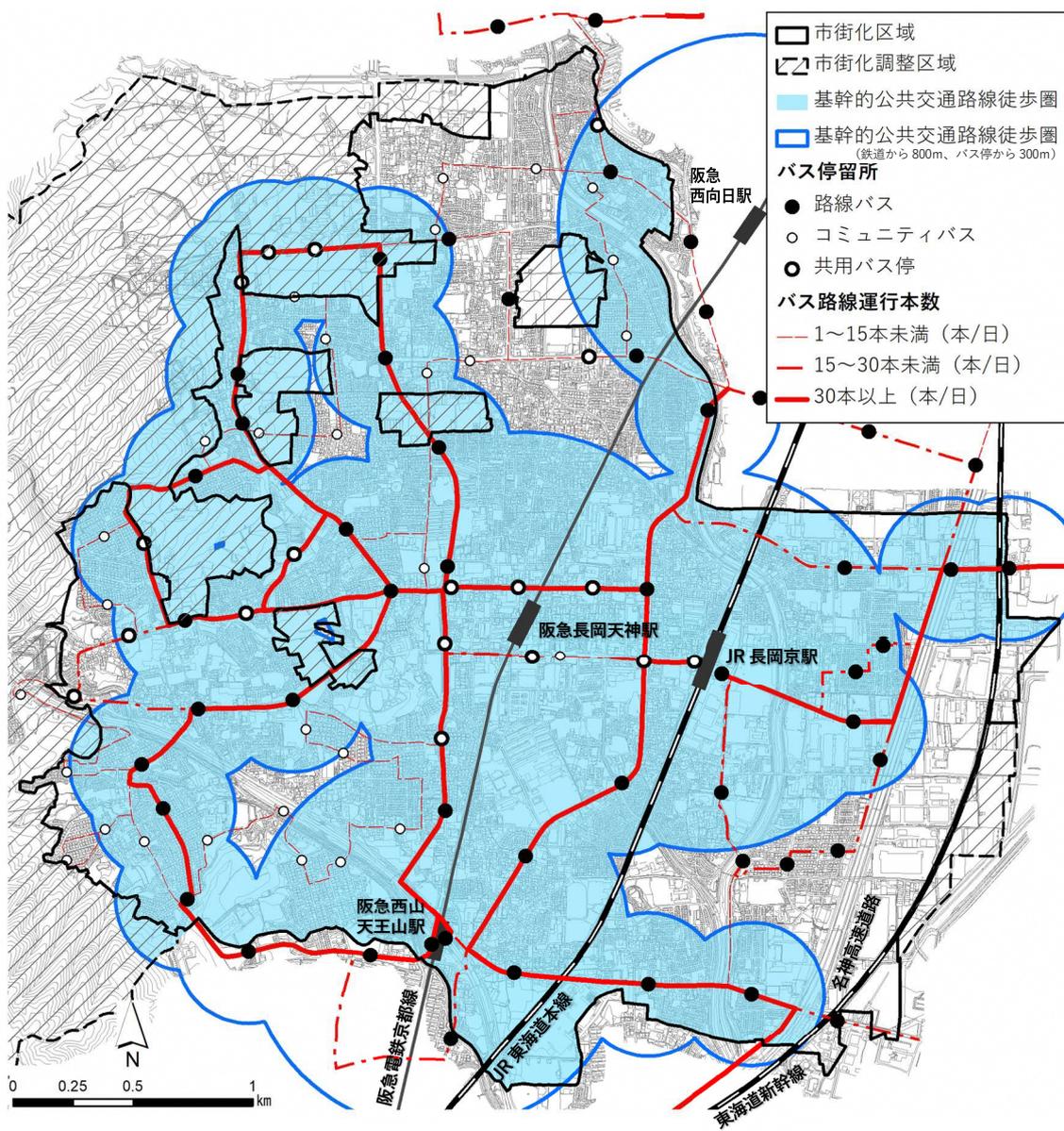
■ 駅勢圏・バス停勢圏 (出典：長岡京市地域公共交通ビジョンをもとに作成)



## ② 公共交通利便性の将来見通し

- ・基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>は、現状（2020年（令和2年））において77%であり、三大都市圏<sup>※2</sup>平均（68%）と比較しても高く、将来（2040年（令和22年））も現状とほぼ変わりませんが、人口の減少に伴う人口密度の低下が想定されます。
- ・そのため、将来は人口減少に伴う公共交通の利用者数の減少により、バスの運行本数や運行ルートなど現状のサービス水準を維持することが困難となる恐れがあります。

■基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>及び平均人口密度（出典：阪急バス、京阪バス、長岡京市）



項目	基幹的公共交通路線			増減(2020 ~2040年)	三大都市圏 <sup>※2</sup> 平均	全国平均
	2015年	2020年	2040年			
徒歩圏人口(人)	64,838	62,478	56,898	-5,580		
徒歩圏人口カバー率(%)	80	77	77	-0	68	41
徒歩圏人口密度(人/ha)	74	72	66	-6	-	-

※1 基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率

運行頻度が片道30本/日以上のサービス水準を有する鉄道駅又はバス停の徒歩圏（鉄道については半径800m、バス停については半径300m）に居住する人口を都市の総人口で除して算出

※2 三大都市圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、兵庫県

## (4) 都市機能

## ① 行政施設、教育文化施設

## a) 立地状況

- ・市役所は、阪急長岡天神駅近くに立地し、警察や消防、教育施設（学校）は、市内各地に立地しています。
- ・文化施設は、スポーツ関連施設等を除いた施設が駅徒歩圏内に立地しています。

## 【行政施設】

市役所	警察	消防
長岡京市役所	向日町警察署 交番：7ヶ所	・乙訓消防組合消防本部 ・長岡京消防署 ・長岡京消防署東分署

## 【教育施設（学校）】

公立小学校：10校	公立中学校：4校	私立大学：1校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・神足小学校</li> <li>・長法寺小学校</li> <li>・長岡第三小学校</li> <li>・長岡第四小学校</li> <li>・長岡第五小学校</li> <li>・長岡第六小学校</li> <li>・長岡第七小学校</li> <li>・長岡第八小学校</li> <li>・長岡第九小学校</li> <li>・長岡第十小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡中学校</li> <li>・長岡第二中学校</li> <li>・長岡第三中学校</li> <li>・長岡第四中学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都西山短期大学</li> </ul>
	<b>私立中学校：1校</b>	<b>その他：2校</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立命館中学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向日が丘支援学校</li> <li>・京都職業能力開発促進センター</li> </ul>
	<b>公立高等学校：2校</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓高等学校</li> <li>・西乙訓高等学校</li> </ul>	
	<b>私立高等学校：1校</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立命館高等学校</li> </ul>	

## 【文化施設】

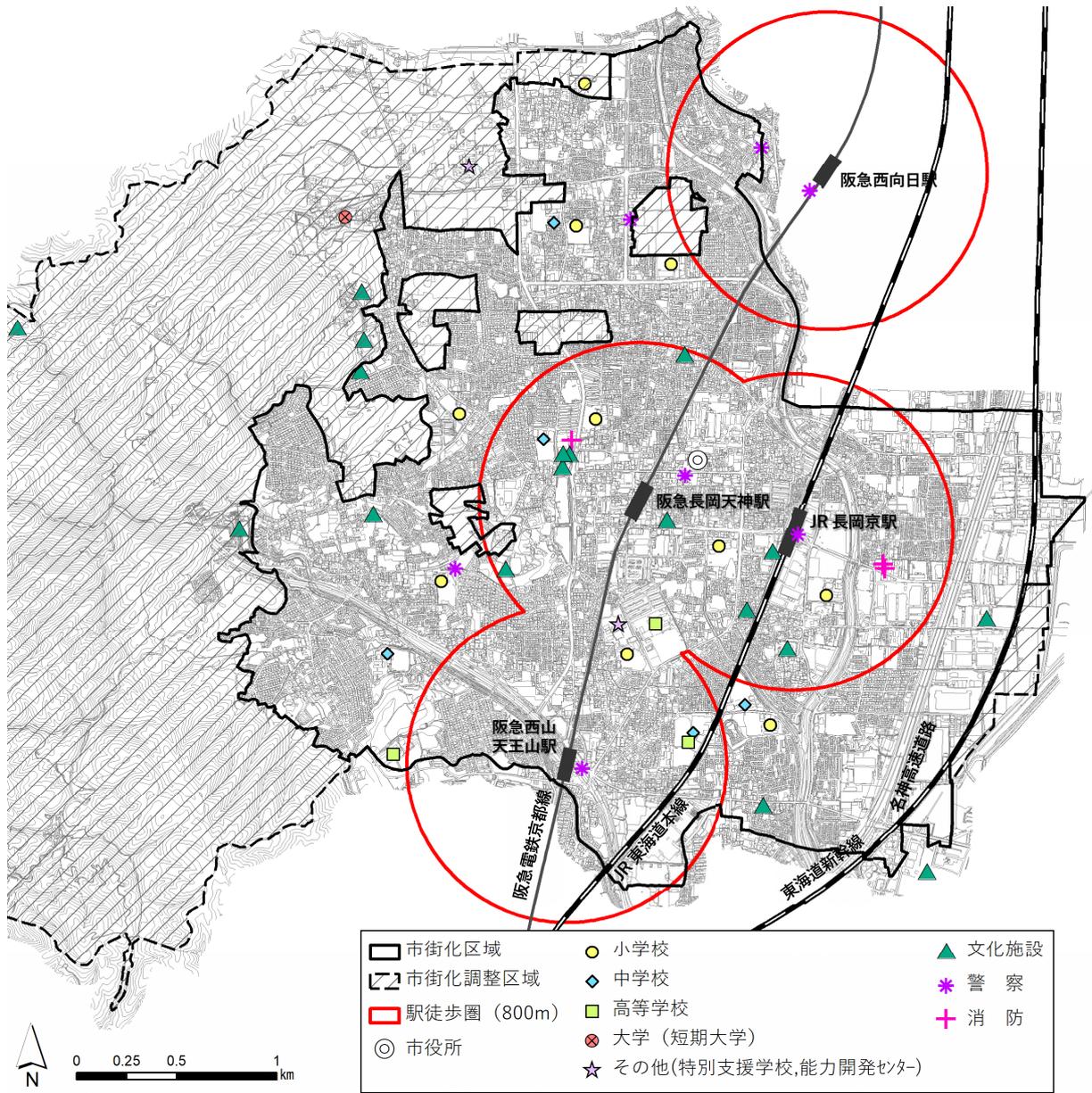
生涯学習・文化センター・スポーツセンターなど	図書館	公民館など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡京記念文化会館</li> <li>・中央生涯学習センター</li> <li>・神足ふれあい町家</li> <li>・西山公園</li> <li>・西山公園体育館</li> <li>・長岡公園</li> <li>・西代里山公園</li> <li>・勝竜寺城公園</li> <li>・スポーツセンター</li> <li>・京都府立洛西浄化センター公園</li> <li>・西山キャンプ場</li> <li>・多世代交流ふれあいセンター</li> <li>・埋蔵文化財調査センター</li> <li>・中山修一記念館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館</li> <li>・北開田会館</li> <li>・産業文化会館</li> </ul>

## 【抽出条件】

市域外の施設については、施設が市域から 300m 以内に位置するものを抽出（バス停の徒歩圏 300m を引用）

（出典：国土数値情報、長岡京市 HP）

■行政施設・教育文化施設の位置 (出典：国土数値情報、長岡京市HP)



**【抽出条件】**  
 市域外の施設については、施設が市域から300m以内に位置するものを抽出 (バス停の徒歩圏300mを引用)

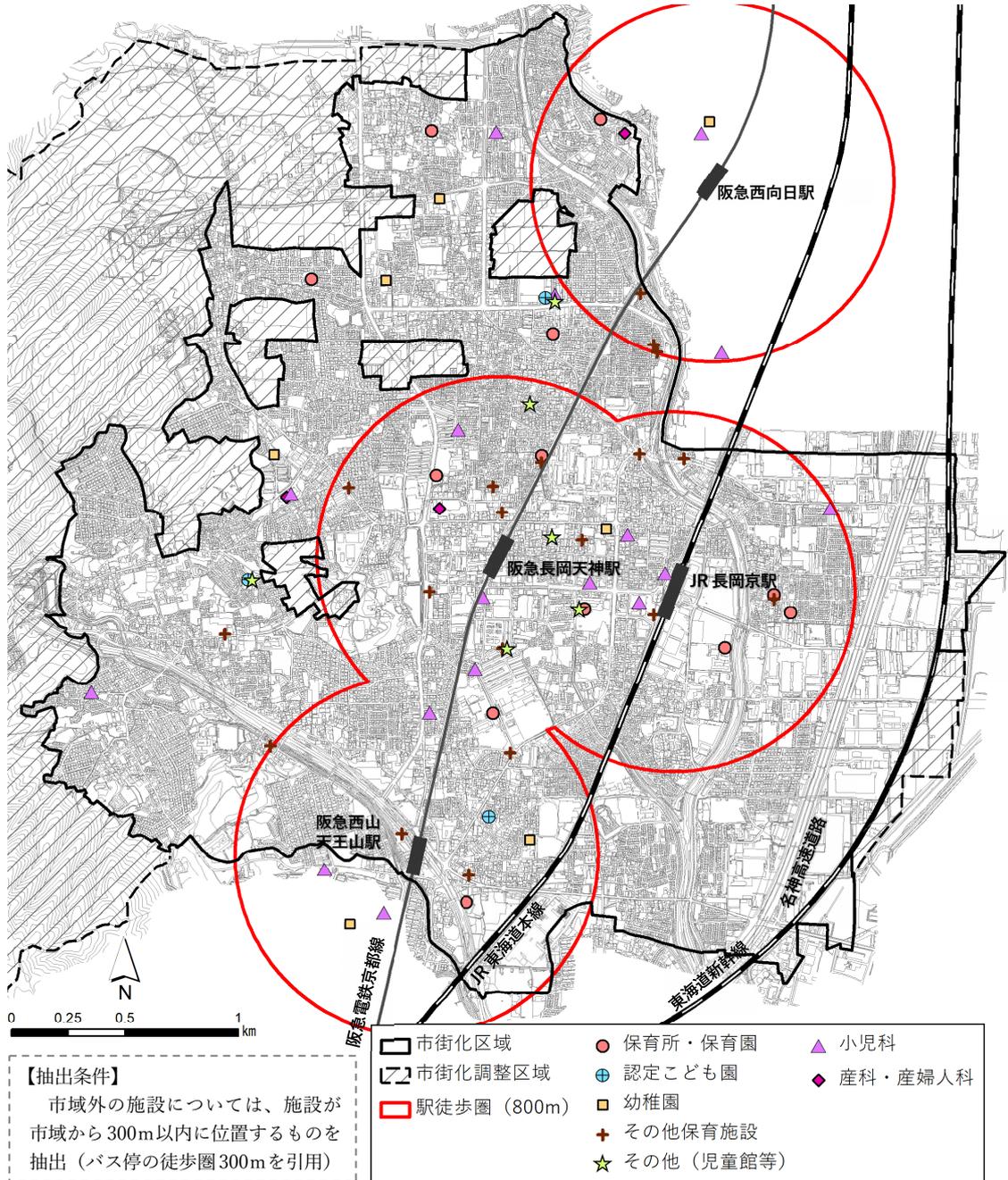
② 子育て支援施設

a) 立地状況

- ・子育て支援施設の多くは、駅徒歩圏内に立地しています。
- ・保育所・保育園や幼稚園、その他保育施設は、市北部の住宅地に比較的多く立地しています。また、徒歩圏0～4歳人口カバー率は、現状（2020年（令和2年））において89%と高い水準です。

	保育所・保育園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	その他保育施設	その他	小児科	産科・産婦人科
2015年	公立保育所：5ヶ所 民間保育園：6ヶ所	—	7ヶ所	認可外保育所：5ヶ所 小規模保育施設：3ヶ所	児童館、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンターなど：2ヶ所	22ヶ所	3ヶ所
2020年	公立保育所：4ヶ所 民間保育園：8ヶ所	3ヶ所	7ヶ所	認可外保育所：6ヶ所 小規模保育施設：13ヶ所	児童館、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンターなど：6ヶ所	17ヶ所	3ヶ所

(出典：国土数値情報、長岡京市HP、病院ナビ)

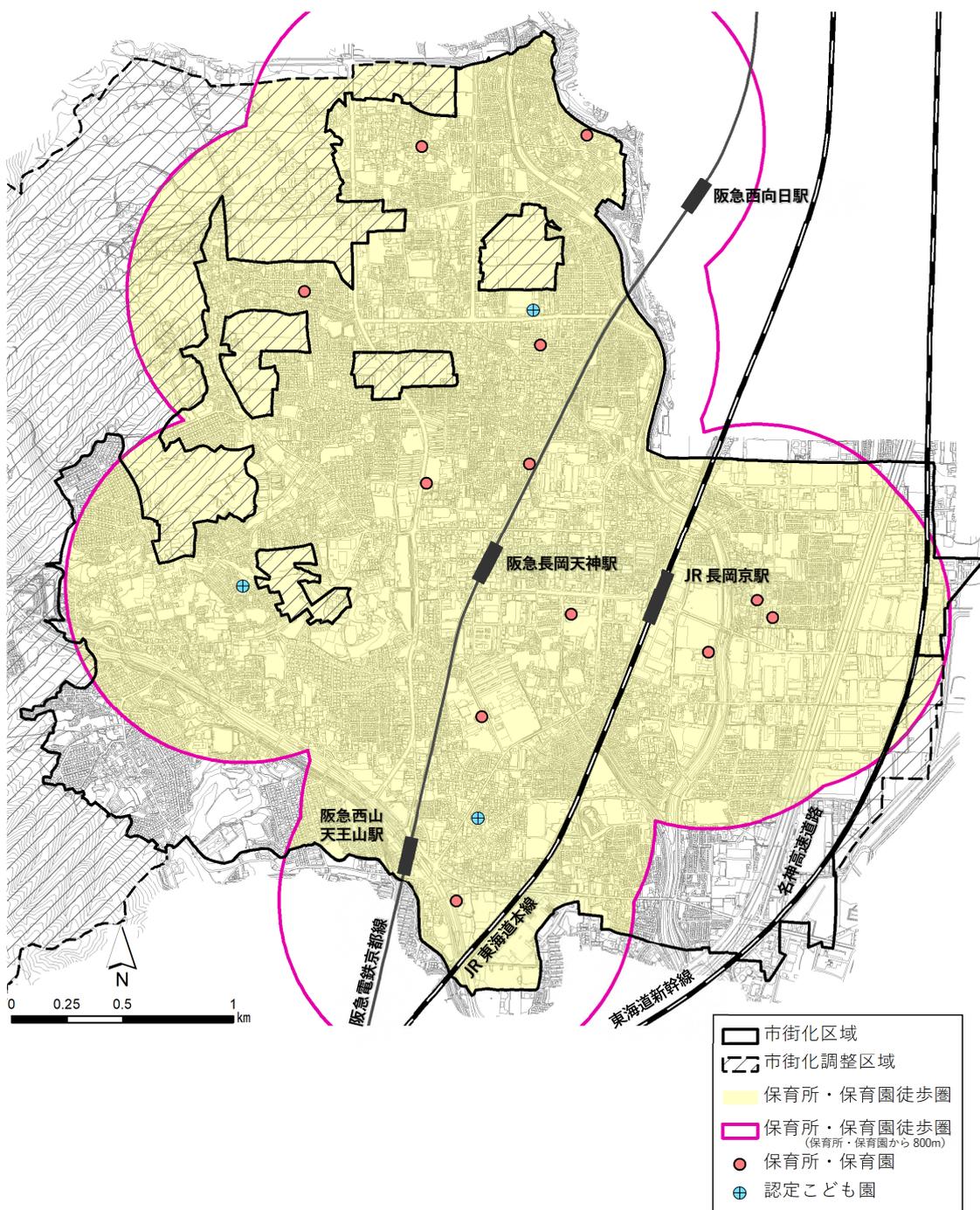


■保育所・保育園の徒歩圏0～4歳人口カバー率<sup>※1</sup>

	0～4歳人口総数	徒歩圏0～4歳人口	徒歩圏0～4歳人口カバー率 <sup>※1</sup>	全国平均	三大都市圏 <sup>※2</sup> 平均
2015年	4,402人 (2015.10)	3,678人	84%	74%	81%
2020年	3,380人 (2020.10)	3,007人	89%	48%	74%

※1 保育所・保育園、認定こども園の半径800m圏域の0～4歳人口を、0～4歳総人口で除して算出。ただし、2015年は0～5歳人口カバー率を示す。

※2 三大都市圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、兵庫県



## b) 充足状況

- ・2010年（平成22年）～2020年（令和2年）の認可保育所の入所状況の推移をみると、就学前児童数は減少していますが、入所児童数は年々増加しています。また保育所定員数も増えています。
- ・入所保留児童については、育児休業延長希望者や特定の保育施設を希望する人も含まれているため、ゼロになることはない見込みですが、2016年（平成28年）をピークに減少傾向にあります。

## ■認可保育所の入所状況の推移

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
就学前児童数	4,490	4,508	4,452	4,401	4,368	4,378	4,378	4,366	4,360	4,337	4,201
保育所定員数	1,200	1,200	1,216	1,261	1,291	1,397	1,472	1,510	1,740	1,891	2,111
入所児童数	1,144	1,200	1,265	1,354	1,430	1,535	1,544	1,620	1,737	1,825	1,889
0歳児	66	70	84	80	76	99	94	112	103	116	113
1歳児	168	178	187	215	237	267	254	265	298	317	353
2歳児	212	224	214	239	265	284	300	309	338	353	362
3歳児	224	253	268	264	282	307	303	308	341	345	351
4歳児	239	237	267	287	281	291	309	316	337	352	354
5歳児	235	238	245	269	289	287	284	310	320	342	356
入所率 <sup>※1</sup> (%)	25.5%	26.6%	28.4%	30.8%	32.7%	35.1%	35.3%	37.1%	39.8%	42.1%	45.0%
入所保留児童数	83	32	29	29	28	15	78	60	72	69	45
保育所希望 入所率 <sup>※2</sup>	93.2%	97.4%	97.8%	97.9%	98.1%	99.0%	95.2%	96.4%	96.0%	96.4%	97.7%

※1 入所率：入所児童数÷就学前児童数

※2 保育所希望入所率：入所児童数÷（入所児童数＋入所保留児童数）

（出典：長岡京市子育て支援課（各年4月1日））